



こんにちは 村田 けい子 です

2019.2.8
No. 190

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

春をよぶつどい

In 立科町

2月24日(日)14:00~16:30

中央公民館集会室

会費 500円 (お茶菓子代)

オープニング 沖縄の三線演奏

第一部

藤岡義英

ごあいさつ

大北森林組合の不正事務など
県政の諸課題について

村田桂子

取り組んできた町政の諸課題

第二部 お楽しみアトラクション

主催 日本共産党後援会 (町の未来を語る会)

☎ 村田(56)2868 竹花(56)129

2月17日から

変更しました。

アンケートへのご協力 ありがとうございました。

先日、県議会報告・村田の「こんにちは 村田けい子です」とともにアンケートをお届けしたところ、続々と2月2日段階で160通が寄せられました。立科町からもお名前入りで寄せられ、道路改善要求も寄せられ、さっそく対応しているところ。アンケートによると

○暮らし向きは

- | | |
|---------------|--------|
| 1、良い | 2.27% |
| 2、どちらかというが良い | 18.58% |
| 3、どちらかというと苦しい | 52.04% |
| 4、苦しい | 20.85% |
| 5、その他 | 2.94% |

で「楽ではない方」は73%に及びま

す。その原因を聞くと

- ①年金の減少 ②国保料・介護保険料の増額③消費税の増税がベスト3で、「物価の上昇」「収入の減少」が続きます。

長野県政の暮らし応援には満足している人は13%、力を入れてほしいことは、

- | | |
|---------------|--------|
| ①税金の無駄使いをなくす | 67.68% |
| ②国保料・介護保険料の軽減 | 64.55% |
| ③高齢者福祉の充実 | 48.63% |

以下、「子どもや障害者の医療費窓口無料化の充実」「地域公共交通の充実」「中山間地域、

過疎地域の対策」「学校へのクーラー設置、トイレの洋式化」と続きます。

《県政への要望》

(ホンの一部の抜粋です。)

・国の政治は1強安倍で続くと、暮らしを生きにくしています。農業する人は皆、高齢者ばかり。自給自足、地産地消も良いです。若者が続けられる(希望をもって)農業を支援して、豊かな信州の自然と食物を守ってほしい。森林税の使い道が今一つ見えません。(70代女性)

・認知症で介護を要す魚屋ガイアスが、特養に申し込んでも、なかなか入居できません。施設職員の方々の負担も大きいと思います。国や県の予算を増やし、今後の高齢化に対応していただきたいです。そうでないと若い世代は仕事ができない(50代女性)

・子どもファースト長野モデルを作ってほしい。教育(共育)にはしっかりと金と人材、環境改善を図ってほしい。(70代男性)

・山国の長野県では自然災害も多いので、災害防止と自然景観をどのように守るかが課題。観光のためにも自然もまもらないと。(60代女性)



元気で
大きくなあれ

今週の
パチリ

「見せたいものがあるから」といわれて伺ったRさんの玄関先にあったのがコレ！初午にひく「わら細工の馬」でした。

顔だちも凛々しく、尻尾やタテガミにも勢いがあります。精悍な馬です。下にコロをつけて引っ張れるように細工してあります。

初午は、二月の最初の午(ウマ)の日に、細工物の馬を引いて、近くの道祖神やお宮に参り、今年の五穀豊穡や無病息災を祈ったもの。一緒に「お稲荷さん」を食べるのが習慣のところもあるそうです。西塩沢ではあんころ餅を馬の荷駄に着けて、道祖神の前で食べたとか。今年もご近所の子どもに引いてもらえるそうです。



2.3 (日) 老人福祉センター集会所で行われた「第10回立科町合唱祭」大きな輪になれ 世界の歌声♪

町内の9つの団体によるうたごえ発表がありました。残念ながら充電中のカメラを忘れて、画像は無しですが、さすがに10周年というだけあって、子どもたち・障がい者団体・ボーイスカウト・役場チーム・高校生・高齢者など各界・各層を代表してのグループ発表でした。今回は特に、町内在住の外国から帰った子どもたち・ファミリーの歌声でした。英語を交えての歌“It ‘s a small World”, きらきら星はフランス民謡とは初めて知りました。

オープニングは会場全体で『信濃の国』。おしまいも全員合唱“It’s a small World”。合唱で始まり、合唱で終わる立科合唱祭。初めて参加したという“ほほ笑む”さん（東京からやってきた音楽家ご夫妻・ギタリスト）も、「立科がこんなに合唱が盛んな町とは思いませんでした。イデスネ」と話していました。

3月3日は第1回たてしな文化祭。「芸能祭」改め「文化祭」となります。“ほほ笑む”さんはトップバッターでうたごえを披露して下さる予定です。

ふるさと交流館で映像とともに流れている曲は“ほほ笑む”さんたちの歌声です。春夏バージョンのプロモーションビデオ（宣伝映像）も完成し流れています。



その2 芦田宿商店街賑わい創出のためにグループを作って活動しよう！

ふじおか県議とともに 佐久地域を元気にするつどい

3月3日 午後3時半 開会
佐久平交流センター

藤岡義英県議・井上哲士参議院議員
・ながせ由紀子選挙区・小林伸陽県議
団長がごあいさつ

2.5 ふるさと交流館で新年交流会

あるというので参加。地域おこし協力隊の牧内さんが中心となって、芦田宿をもっと元気にしたいと考える方たちが集まっていました。

協力隊員・役場職員・商工会・銀行員、飲食店主、議員、そして地元芦田宿の住民のみなさん、芦田城址の復活を願う皆さんも参加していました。

私も芦田宿の活性化のために、「ミニ五無齋記念館&手の技工芸館」を開きたいと願っているの、



昨年は、芦田商店街の空き店舗を調査。活用方法を探ったという。

その思いを語りました。

そこで出会った方から、店舗となりそうな空き家物件を紹介してもらえこととなり話が具体化します。元『藤屋』さんを活用して立科産野菜だけの食堂&カフェ、協力隊のみなさんが進めている「昭和を感じさせるビンテージショップ」が現実味を帯びて、にわかには芦田宿がにぎやかになりそうです。

みんなで力を合わせて、芦田宿の賑わいを復活させましょう。

その3 「竹ランタンでたてしなの絶景を灯すプロジェクト」始動！



ボランティア募集中！

地域おこし協力隊の山本さんを中心に、蓼科第二牧場の雪原に竹ランタン356個灯して、冬の夜の魅力をみんなで楽しもうというプロジェクトが始まっています。

芦田城址の整備で刈り取った竹を活用し、竹の中にLED電球を灯して、竹から漏れる灯りに照らされた牧場の冬を楽しもうというもの。その夜は「モーモー」

さんも開けていただいて、温かいミルクも提供してもらえそうです。

また、白樺高原を自転車でツーリングする人々が増えているけれども、その車体を止めておく「止まり木がないため、みんなで創ろう」というプロジェクトも始まるそうです。

立科の魅力をもっと発信したいと願う皆さんが集まっていると話をしていると次々にアイデアが浮かんでくるようです。

そんなお話を聞いているだけで元気になります。